

★ 今回の教組ニュース ★

期末・勤勉手当支給
県スポーツ大会・福島応援ツアー

湘南バレーボール大会
執行部のつづき
当面の活動予定
スキースノボツアー

12月10日 期末・勤勉手当が支給されます！

	教職員 支給額		再任用教職員 支給額	
12月期末手当	給料×1.375		給料×0.80	
12月勤勉手当 区分	成績率	支給額	成績率	支給額
特に優秀	102.5%	給料×1.025		
優 秀	95.5%	給料×0.955	45.25%	給料×0.4525
良 好	88.5%	給料×0.885	41.75%	給料×0.4175
良好でない	83.5%	給料×0.835	39.25%	給料×0.3925

※記載の成績率は、今回の県労連確定闘争の妥結内容（0.05月引き上げ）は反映されていません。

勤勉手当の成績率に係る評価結果の

開示請求・苦情申出ができます！

評価結果に対する開示（十分な説明を求める）や苦情申出（説明を受けた後も納得がいけない場合に申し出る）をすることができます。これは、私たち学校現場で働く者たちが、人事評価によって不利益を受けないようにするため、恣意的な運用がされないよう検証するために必要な仕組みであり、人事評価の公平性・公正性を求める仕組みでもあります。人事評価に関する苦情相談は通年ですが、勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示請求・苦情申出には、期間が決められています。

まず、決められた期間内に開示請求をして、説明を受けます。

12月10日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果の開示期間

2018年12月10日（月）から12月17日（月）まで

※学校長に対して評価結果の開示を請求します。



それでも納得がいけない場合には、苦情申出をすることができます。

12月10日支給の勤勉手当の成績率に係る評価結果に対する苦情申出期間

2018年12月10日（月）から12月28日（金）まで

※教育委員会に対して苦情申出をします。第3者に立会人を依頼することができます。

湘南教組は、神教組に対して県教委が人事評価結果における検証・改善をはかるよう求めると共に、市町教育委員会に評価者への制度理解及び検証、評価者研修の充実も求めてきました。今後も、人材育成の趣旨の徹底をはかりながら、制度検証の継続や評価者の理解を、神教組とともに県当局に働きかけて行きます。

茅ヶ崎市教委との全体交渉

10月16日、茅ヶ崎市教育委員会と「教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。
執行部から ①休職等に際する代替者の確保、加配職員の確保に向けた方策 ②労働安全衛生体制の確立（勤務時間の正確な把握・ストレスチェックの実施） ③給食費の公会計化 について要求しました。

市教育委員会からは次のような回答がありました。①代替者の確保は大変厳しい状況である。このような状況が長く続かないよう県へ訴えていく。なんとか非常勤でも働いてくれる方を見つけている。②必要な施策であることは十分理解しているが、現状予算が確保できない。空調や事務用 PC 配備をすすめている状況である。③教職員の多忙解消には有効な施策だと認識している。文科省が示すガイドラインも参考にしながら、必要な人員や予算を確保するよう努めたい。



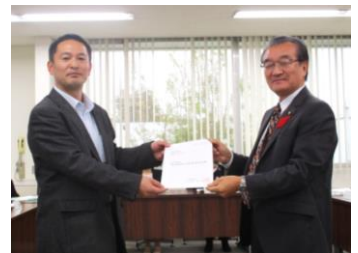
寒川町教委との全体交渉

10月26日、寒川町教育委員会と「2019年度教育施策・予算要求全体交渉」を行いました。

執行部の総括質疑としては ①湘南教職員組合との事前協議及び協力体制の確立について ②寒川町教育委員会の 2019 年度重点施策について ③次期学習指導要領の課題の把握と具体的な施策・対応について ④教職員の働き方改革・多忙解消に向けての具体的な対応について、各専門部からも3点ずつ要求しました。

町教委からは次のような回答がありました。

「次期学習指導要領について、外国語科・外国語活動の時数の確保については喫緊の課題と考えている。協議をさせていただきながら、児童生徒、教職員にとって必要な体制を整えていきたい。」「多忙解消、業務改善については教育委員会としても深刻な課題であると受け止めている。人的配置については、今年度も県を通して国に強く要望したところ。」



第 71 回神奈川県教職員スポーツ大会（球技の部）



10月下旬～11月下旬の約1ヶ月間、神奈川県教職員スポーツ大会（球技の部）が開催され、県内7地区（横浜、川崎、三浦、湘南、湘北、中、西湘）の教職員が集い、各スポーツを通して、それぞれ技と力を競いあいました。湘南教組も事前に練習を重ね、全種目に参加する中で、地域、地区を越えて親睦を深めました。

各種目の順位は次の通りです。選手の皆さん、お疲れさまでした。

〔男 子〕

	卓球 (10/28)	サッカー (11/10)	軟式テニス (11/17)	バレー (11/23) 35歳未満 35歳以上		バスケット (11/23)
1位	湘北	横浜 B	西湘	横浜 A	西湘	西湘
2位	川崎	横浜 A	湘北	横浜 B	湘南	湘南 A
3位	中	中	中	中	中	中

〔女 子〕

	卓球 (10/28)	サッカー	軟式テニス (11/17)	バレー (11/23)	バスケット (11/23)
1位	川崎・湘北		横浜	川崎	湘南
2位	湘南・西湘		湘南	中	横浜・湘北
3位			西湘	湘北	西湘

第13回福島復興応援ツアー

10月13日（土）、14日（日）に福島復興応援ツアーを実施しました。今年度は名称と企画を変更して行いました。

13日は地元教組のお二人に同行していただき、フィールドワークに出かけました。「国破れて山河在り、城春にして草木深し」と杜甫の詩にあるように、自然は変わらずにあり、柿の実がたわわに実っていました。しかし、その自然は放射能に汚染され、川の魚を取ることも、柿の実をもいで食べることもできないのです。まだまだ、高い値の放射線量が計測され、「帰還困難区域」とされている場所がたくさん存在していました。14日には「希望の牧場」を視察しました。牧場主の吉沢さんから、事故からこれまでの経緯を説明していただきました。牧場ではたくさんの牛が飼育されていました。しかし、その牛はやはり放射線を浴び、食肉となることもなく、その寿命まで飼育されているのです。殺処分反対し、今も尚、牛たちとともに暮らす吉沢さんの話を伺い、被災地を風化させない活動が、今後必要だと感じました。



参加者が年々減っていることもあり、日程や活動内容も見直しながら、被災地の復興に向けてとりくんでいきたいと考えます。

尚、皆様から寄せていただいた義捐金180,477円は、福島県教組を通して震災遺児基金として寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。



湘南教組バレーボール湘南大会

11月17日（土）に湘南教組バレーボール湘南大会が男子は鎌倉市立玉縄中学校、女子は藤沢市立藤沢小学校で行われました。男女ともに試合は1回戦から熱戦が繰り広げられ、1本1本が手に汗を握る試合となりました。特に準決勝からの試合は互いに譲らず、長いラリーが何本も見られ真剣な眼差しと熱いものが感じられました。

男子の優勝校は茅ヶ崎の小出小でした。ベスト4は茅ヶ崎の小学校が独占し、茅ヶ崎のレベルの高さを感じました。小出小は、1回戦で鎌倉の深沢中、2回戦で藤沢の湘南台小を撃破。準決勝は市の大会で敗れた東海岸小を、決勝は柳島小を破り、昨年準優勝の雪辱を果たしました。小出小のキャプテンからは「仕事と違うことに必死になったり、付き合ったりしたことが今回の結果になったのかもしれない。地域大会、湘南大会を通して、練習試合を組んでくださった鎌倉、藤沢、茅ヶ崎の教職員の方々に感謝申し上げます。来年もまた皆でやりましょう。」と感想を頂きました。



男子の部 優勝 小出小学校

女子の優勝校は、見事8連覇を達成した茅ヶ崎小でした。7人での出場でしたが安定したバック、確実なセッター、センターからの攻撃、時にレフトからの強打とバランスのとれたチームでした。準々決勝の藤沢の辻堂小、準決勝の藤沢の大鋸小、決勝の鎌倉の深沢小と1セットもとられることなく、危なげない試合運びで、優勝を決めました。茅ヶ崎小のキャプテンから「優勝という結果を残せて嬉しかったのですが、それ以上にバレー大会を通じて、自校はもちろん、他地域・他校の教職員の方々とたくさん交流ができ、とても楽しい時間を過ごすことができてよかったです。今後も様々な活動でたくさんの教職員の方々と関わることができたら嬉しいです。」と感想を頂きました。



女子の部 優勝 茅ヶ崎小学校

	優勝	準優勝	第三位	
男子の部	茅ヶ崎市立小出小学校	茅ヶ崎市立柳島小学校	茅ヶ崎市立松林小学校	茅ヶ崎市立東海岸小学校
女子の部	茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校	鎌倉市立深沢小学校	藤沢市立鵜沼小学校	藤沢市立大鋸小学校

長い歴史を持つ湘南教組バレーボール湘南大会ですが、目的は職場のチームワークや人間関係を深めることにあります。今年もすべての試合で選手と応援する人たちが一体となっている姿が見られました。その力はきっと翌日からの教育活動のエネルギーになることと思います。大会に出場したすべての選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。また、大会運営にあたっては会場校の職員の皆さん、準備、片付けにあたっていただいた大会運営役員の皆さん、各校のキャプテンの皆さん、ご協力ありがとうございました。



スキー・スノボ★ツアーIN サンメドウズ清里

2019年 1月 19日(土) 費用 1人:5000円!

＜バス代・1日リフト券・温泉代・保険代を含む＞※昼食代・レンタル代は別。

★別紙参加申し込み用紙に必要事項を記入上、書記局まで提出あるいは、FAXして下さい。

(FAX:0466-82-1638) ※切12月20日18時まで!!

執行部のつぶやき

何をつぶやくか考えてみた。

執行部に来てからの思い出を振り返った。

しんどいことも、ためになることもたくさんあった。

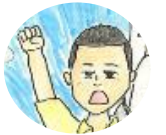
「どうせやるなら楽しくやろうよ！」



そういえば、自分自身「楽しさ」って教室でも人生でも大切にしていた。酔ってないと相変わらず良いこと言う頼りになる人だ。

思い出深い教研ポスターと共に、楽しい人たちとの出会いを書きとめてみた。

「っていうか〇〇ということでしょ。」



よく、みんなの話をまとめていた。さすが長年組織をひっぱってきた人だ。顔として他団体などと外での活動が多く、書記局で見かけたら運気がアツするとささやかれていた。

「誰か鍵いい！（最後書記局を閉めて！）」



2年目にして組織の中心。賃金にも熱い思いが。さすがだ。最近 17 時以降に夜の街に消えていくこと多し。お疲れ様。

「それって〇〇だと思うんですよね。」



若いのにいたるところで責任感ある言動が。すごい。そういえば教組ニュースの平和連載どうなった。

「ええ?! それ分かんない!」



そんなことばかり言っていたのに、Fのトップとして日夜活躍。カッコいい。たまの一人飲みも許してあげて。

「これ、要らないでしょ!」



文句ばかり言っていた。でも、いつしか意見になり、今や執行部の誇れる働き方改革牽引車。時々ずるしないように優しく叱ってあげて。

多趣味で周りにとっても気を遣える場所名が苦手な人。



ポスター描いた人。



よく登る筋肉な人…。



まだまだ、書ききれないくらいたくさん楽しい出会いと思い出があった(気がする)。執行部に来れたことに感謝。

※このつぶやきはフィクションです。実在する組織や人物とはあまり関係ありません。